

“地域に貢献する”JAあいらの

ご案内

平成29年度
上半期ディスクロージャー



届ける安心 広がる笑顔 生まれる信頼



目 次

ごあいさつ	1
I. J Aあいらの概要	2
(1) 組合員数	2
(2) 役 員 数	2
(3) 職 員 数	2
II. 開示項目	3
1. 金融再生法開示債権（単体）	3
2. 単体自己資本比率（国内基準適用）	3
3. 主要勘定の状況	4
4. 有価証券等時価情報	4
III. 地域貢献活動	4
1. 地域からの資金調達の状況	4
2. 地域への資金供給の状況	5
3. 文化的・社会的貢献に関する活動	6
IV. 自己改革の実践に向けた取り組み状況について	10
1. 地域営農ビジョンの取り組み	10
2. 「組合員の収入拡大・コスト抑制対策」の取り組み	10
3. 組合員との関係性強化の取り組み	11
V. 役員紹介	12
VI. 店舗一覧	13

ご あ い さ つ

組合員をはじめ地域住民・利用者の皆様におかれましては、かねてよりJAの事業運営に深いご理解と絶大なるご支援・ご協力を賜り、衷心より感謝とお礼を申し上げます。

また、7月に発生した九州北部豪雨と台風18号で被災された方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

我が国の農業情勢は、TPP（環太平洋連携協定）が米国の離脱で漂流する中、日本とEU（欧州連合）のEPA（経済連携協定）が大枠合意し、チーズなど一部品目でTPPを超える市場開放に踏み切りました。政府は、国内農業に対する打撃は避けられない状況となるなか農業者救済策を講じるために、7月14日「TPP等総合対策本部」の初会合を開き、国内対策の検討に本格着手しましたが、衆議院の解散により不透明な状況となりました。

そのような中、管内は、豪雨や台風による大きな被害を免れたものの春先の長雨や温暖化が影響し、農作物の生育遅れや減収など厳しい状況が見られました。

また、畜産では、第11回全国和牛能力共進会で鹿児島県が団体賞の和牛日本一を獲得しました。JAあいらからも5頭の出品があり、優等賞一席を含む輝かしい成績を収めるなど、日本一に貢献するとともに「あいら牛」の名声を高めることができました。

一方、組織事業運営においては、時代の変遷とともに協同組合運動のあり方が大きく変貌しつつあり、平成28年4月の農協法改正は、企業的視点に立った事業運営を展開することを求めており、農業者の所得増大や農業生産の拡大に資するための施策を講じることが重要になってきています。

そのため、組合員との徹底した話し合いを通じ、農業所得の増大に努めていくとともに、准組合員や地域住民に信頼され期待される組織として、様々な自己改革に取り組んでまいります。そして、活動により生まれた果実を地域に還元し、地域の住民・行政から高い評価を得られるよう「地域の活性化」に貢献します。

おかげさまで、JAあいらは合併25周年を迎えました。これからも、霧島市・始良市・湧水町を管内とする総合農協として、「届ける安心 広がる笑顔 生まれる信頼」のビジョンを掲げ、活力ある農業づくりはもとより、移動店舗車「I♡Raちゃん号」の運行による金融サービスの提供、移動購買車「笑美ちゃん号」など、支店を核とした特色ある地域貢献活動を基本に地域と一体となった事業を展開していきます。

今後も引き続き当JAの事業運営へご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、組合員をはじめ地域住民・利用者の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、ディスクロージャー誌発行にあたってのごあいさつといたします。

平成29年10月

あいら農業協同組合

代表理事組合長 中條 秀二

I. 当JAの概要（平成29年8月末現在）

●JAあいらの概要

名 称	あいら農業協同組合
所 在 地	鹿児島県霧島市隼人町西光寺521番地1
設 立	平成4年3月1日
貯 金 残 高	139,751,361千円
貸 出 金 残 高	26,864,098千円
出 資 金	1,953,952千円
処分未済持分	△24,187千円

(1) 組合員数（単位：人）

	平成29年2月末	平成29年8月末
正 組 合 員	9,329	9,263
個 人	9,250	9,179
法 人	79	84
准 組 合 員	13,025	13,177
個 人	12,814	12,969
法 人	211	208
合 計	22,354	22,440

(2) 役員数（単位：人）

	平成29年2月末	平成29年8月末
理 常 勤	3	3
事 非 常 勤	15	15
(計)	18	18
監 常 勤	1	1
事 非 常 勤	5	5
(計)	6	6
合 計	24	24

(3) 職員数（単位：人）

区 分	平成29年2月末	平成29年8月末
参 事	3	3
職 員	267	273
計	270	276
常 備 臨 時 職 員	153	147
合 計	423	423

Ⅱ．開示項目

1. 金融再生法開示債権（単体）

（単位：千円）

	平成29年 2 月末	平成29年 8 月末	増 減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	280,014	211,128	△ 68,886
危 険 債 権	417,458	332,354	△ 85,104
要 管 理 債 権	0	0	0
小 計	697,472	543,482	△ 153,990
正 常 債 権	24,440,729	26,385,519	1,944,790
合 計	25,138,201	26,929,001	1,790,800

注 1：破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、更生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。（以下「破産更生債権等」という。）自己査定では、破綻先債権及び実質破綻先債権にあたる。

注 2：危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財務状況及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権。自己査定では、破綻懸念先債権にあたる。

注 3：要管理債権

自己査定において要注意に区分された債務者に対する債権のうち、3ヶ月以上延滞貸出債権及び条件緩和貸出債権。

注 4：正常債権

債務者の財務状況及び経営成績に特に問題がない債権であり、破産更生債権等・危険債権及び要管理債権以外の債権をいう。

2. 単体自己資本比率（国内基準適用）

平成29年 2 月末	平成29年 8 月末
13.01%	12.33%

（注）「単体自己資本比率」は、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」（平成18年金融庁・農林水産省告示2号）（バーゼルⅢ）に基づき算出しています。

3. 主要勘定の状況

(単位：千円)

	平成28年8月末	平成29年2月末	平成29年8月末
貯金	138,556,230	130,848,401	139,751,361
貸出金	27,885,621	25,077,702	26,864,098
預金	103,253,247	98,063,960	104,237,856

4. 有価証券等時価情報

【有価証券】

有価証券の残高はありません

Ⅲ. 地域貢献活動

当JAは、霧島市、始良市、始良郡湧水町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助(お互いに助け合い、お互いに発展していくこと)を共通の理念として運営されている協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当JAの資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当JAでは資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当JAは、管内の全ての市町(霧島市、始良市、湧水町)から指定金融機関として指定を受け、組合員だけでなく地域住民すべての方へのサービスに努めています。

当JAは、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

1. 地域からの資金調達の状況

(1) 貯金積金残高

当JAでは、組合員はもちろん地域住民の皆さまや事業主の皆さまからの貯金をお預かりしています。

【貯金積金残高 139,751,361千円】

(2) 貯金商品

当 JA の代表的な貯金商品として、給与振込や年金振込ができる普通貯金や、まとまったお金に積み立てることのできる定期積金、そしてそのお金を長期にわたって安心してお預けいただける定期貯金などをご提供しています。本商品の内容や、当 JA で取扱っている商品等の詳細につきましては、本所・各統括支店・支所窓口へご照会ください。

また、夏(6月～7月)と冬(11月～12月)に県下統一のキャンペーン「貯王」(チョキング)「積王」(ツミキング)を実施し、金利上乘せの特典や、抽選により豪華景品をプレゼントしています。

2. 地域への資金供給の状況

(1) 貸出金残高

組合員への貸出をはじめ、地域住民の皆さまの暮らしや、農業者・事業者の皆さまの事業に必要な資金を貸出しています。

また、地方公共団体、農業関連産業などへ貸出し、地域経済の質的向上・発展に貢献しています。

平成29年8月末

貸出金残高	26,864,098千円	
うち組合員等	16,212,273千円	60.35%
うち地方公共団体等	10,077,925千円	37.51%
うちその他	573,900千円	2.14%
貯金積金に占める貸出金の割合		19.22%

(2) 制度融資の取扱い状況

鹿児島県や当 JA 管内の市町と協調して、借入者の負担が少しでも軽減できる制度融資や独自農業資金も取扱っています。

資 金 名	取 扱 実 績	制 度 の 概 要
農業近代化資金	822,967千円	農業施設、農機具、その他の施設の改良、造成、取得及び復旧等
アグリメイク資金	399,121千円	農業に関する設備資金、運転資金

3. 文化的・社会的貢献に関する活動

○ 安心・安全な食料の供給

環境と調和のとれた農業生産を促進し、新たなポジティブリスト制への対応にも取り組み、消費者に信頼される「安心・安全」な食料の供給に努めるとともに、地域の特性を活かした作物の生産振興ならびに地域農業の活性化に取り組み、食料の自給率向上に努めるため、JAグループと一体となって日本の農業を守る農政運動を展開しています。

○ 地産地消の取り組み

地域内のAコープをはじめとした店舗での生産者直売コーナーを設置し、「安心・安全」で新鮮な農産物・加工品を品揃えし、生産者と消費者のお互いの理解を深めながら地産地消に取り組んでいます。

また、畜産部門においても、子牛せり開催時に管内肥育農家が育てた牛肉を販売し、生産者と消費者を結びつける地産地消に取り組んでいます。

○ 担い手農家の育成

JAあいら担い手担当チーム(TAF)は、地域営農ビジョン達成に向けて、ビジョン品目の中心となる組合員や部会の中核的農家からの声を聞く運動の強化と出向く体制整備をおこない、組合員等からの意見や情報をJA内で共有し、販売や購買事業に関して総合的な支援を行っています。

また、新規就農者に対しては、早期に経営が安定し定着化できるよう関係機関・団体等と連携し現場に出向き現状把握を行いながら、持続的な農業経営に向けた指導を行っています。

集落営農組織の育成については、19地区(重点活動対象8地区・一般活動対象地区11地区)に定めながら関係機関と連携を行い巡回しながら、集落の組織化へ向けた取り組みと支援を行い進めています。

さらに平成29年5月11日JA県中央会担い手・サポートセンターが北さつま本所内へ北薩事務所を開設し、中央会職員2名と3農協から出向した4名(あいら農協1名・北さつま農協2名・鹿児島いずみ農協1名)を加えた6名の体制で3農協管内の事業・経営・法人化支援の更なる取り組みによる組合員との関係性の強化を目的とした活動を展開しています。

○ 農業電子図書館の活用

組合員等から病虫害相談等を受けた際に、パソコンにより病虫害の写真、病状が確認でき、より適確な対応ができるようになりました。また職員が持っているスマートフォン・タブレット等でも確認することができますので、組合員の畑やご自宅等でも営農指導員や複合渉外が情報提供を行っています。

○ 環境問題への取り組み

環境問題に対処するため、農業用ビニール・プラスチック等の回収、更には農薬の空容器や残農薬の回収に取り組んでいます。

また畜産部門においては畜産環境整備リース事業の活用により糞尿処理体制を整備し、環境問題に取り組んでいます。

○ 健康管理活動への取り組み

組合員・地域住民の健康管理への意識向上や健康チェックをはかるため、人間ドックや巡回検診の受診促進や事後相談に取り組んでいます。

○ 年金友の会各支部総会の開催

J A あいら利用者年金友の会の各支部総会が平成29年3月29日溝辺支部を皮切りに平成29年7月15日始良支部まで延べ約3,600人参加のもと開催されました。

○ 共済代理店ゴルフコンペの開催

J A あいら共済代理店ゴルフコンペが平成29年7月20日(木)、溝辺カントリークラブで開催されました。このゴルフコンペは年2回の開催で、農協事業に多大な貢献をいただいている代理店の方々が参加され、日頃の練習の成果を競い合いながら、和気あいあいの内に終了いたしました。

○ 共済代理店セミナーの開催

J A あいら共済代理店セミナーが平成29年7月5日(水)、ホテル京セラで開催されました。今年は、代理店(164店)を対象に、講師としてフリーアナウンサー 二見いすず様を招き、演題「花に水 人に言葉」の講演と、ギタリスト ノンキー山田様による歌謡ショーを観覧していただき、出席された代理店の皆様方は大変楽しく有意義な一日を過ごされました。

○ スポーツ活動を通じた健康増進活動への支援

年金友の会ゲートボール大会やグラウンドゴルフ大会の開催ならびに地域のスポーツ活動にかかる助成等を行いました。

○ 食農教育活動の実施

ちゃぐりんスクール2017を開校し、管内8小学校から14名の子供たちが参加しています。「見て、さわって、かいて、体を動かして感動しよう」を基本テーマに、田植えなどの水稻栽培体験のほか管内農畜産物にふれ、子ども達が「食べもの」や「農業の大切さ」、「自然」や「生命」について体感する活動に取り組んでいます。

また、保護者も参加して、親子で一緒に食農体験をしながら、食の安心・安全についても理解を深めてもらう活動を行っています。

さらに、学校教育と連携した食農教育活動として、霧島市立国分中央高等学校の生徒と交流し、さつまいもの植付け作業を実施したほか、西部営農センターによる柁城小学校・三船小学校への田植えの出前授業、西始良小学校へのさつまいもの苗植えに関する出前授業、加治木・始良・蒲生支部女性部と西部営農センター連携による永原小学校・三船小学校・蒲生小学校へのみどりのカーテン設置、中部営農センターと横川支部女性が連携した安良小学校へのみどりのカーテン設置、ならびに東部営農センターによる青葉小学校への田植えの出前授業、北部営農センターでは栗野中学校へ梅の管理指導を実施しました。

また、西部営農センターにおいてはコープ親子スクールへ参加し、他協同組合との連携にも積極的に取り組んでいます。

○ 教育・文化活動の支援

J A 共済作品コンクールを開催しました。

J A の食農教育をすすめる子供雑誌「ちゃぐりん」や教育資材を各小学校に提供しています。

○ 地域イベントへの参加と広報

地域の各種イベント等に積極的に参加・支援を行うとともに、食と農ならびに J A への理解を深めるための活動を展開しています。また、広報誌やホームページを通じて地域への情報発信を行っています。

○ 御田植祭への参加

霧島神宮の御田植祭、鹿児島神宮の御田植祭に毎年参加しています。今年は霧島神宮の御田植祭に早男 5 名、早乙女 2 名が参加、鹿児島神宮の御田植祭に早男 5 名、早乙女 6 名が参加しました。

○ ボランティア活動による地域清掃活動

毎月第 2 水曜日を地域清掃活動の日と定め、全支店・支所でボランティアによる地域清掃活動を実施しています。

○ 組合員全戸訪問活動の展開

J A と組合員・地域住民のきずなを深める活動の一環として、全職員による月 2 回の全戸訪問活動を展開し、特に第 2 土曜日の全戸訪問活動を実施しました。

○ 支店を核とした協同活動・地域貢献活動の展開

各統括支店を中心に、地域貢献活動を積極的に展開しました。

上期に取り組んだ主な活動

加治木統括支店・・・加治木地区女性部と連携した年金受給者へのふれあい活動、地域清掃活動実施

始良統括支店・・・始良地区女性部と連携した年金受給者へのふれあい活動、小学校への緑のカーテン設置、交通安全街頭キャンペーン実施、地域清掃活動実施

蒲生統括支店・・・蒲生地区女性部と連携し、蒲生小・蒲生中学校にてレイシを使った緑のカーテンの設置

溝辺統括支店・・・町内の小学校の清掃活動、窓口で子どもたちへクワガタムシ・カブトムシのプレゼント実施

横川統括支店・・・大隅横川駅で開催のひな祭りイベント、平和コンサート、ビッグパンプキン重量コンテストへの運営参加、交通安全キャンペーン実施

栗野統括支店・・・新学期に合わせてお迎え・あいさつ運動実施、地域清掃活動実施

吉松統括支店・・・地域清掃活動実施

牧園統括支店・・・来店客へ新茶とお菓子でのおもてなし、牧園地区女性部と連携した七夕笹飾りの作成・展示

隼人統括支店・・・女性部と連携した年金受給者へお茶と手づくり菓子でのおもてなし、小浜ふれあい市の毎週開催と年1回のイベントの開催、裸足のナイター運動会への参加、地域清掃活動実施

霧島統括支店・・・交通安全街頭キャンペーン実施、地域清掃活動実施

国分統括支店・・・錦江湾クリーンアップ作戦への参加、交通安全キャンペーン実施、霧島国分夏祭りへの参加

福山統括支店・・・JAふくふく隊による高齢者見守り活動の実施、地域清掃活動実施

○ 移動店舗車の運行開始

組合員・地域との結びつき・きずなを強化するため、平成29年3月より金融サービスを行う移動店舗車「I♡Raちゃん号」の運行を開始しました。以前店舗があった地域や交通が不便な地域を中心に、火曜日から金曜日まで週4日間（4コース）巡回しています。

Ⅳ. 自己改革の実践に向けた取り組み状況について

J Aあいらでは、政府の農協改革に対抗すべく「変わるべきは自ら変わる」「変えるべきは自ら変える」という自己改革を、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とした第9次中期3か年計画として整理し進めており、その中でも重点取り組みとして「地域営農ビジョンの取組強化」「組合員の収入拡大・コスト抑制対策」「組合員との関係性強化」を具体的に実践しています。

1. 地域営農ビジョンの取組み

農村地域の高齢化が進展する中で、今後の担い手確保・農地を農地として活用し、地域農業を次代へ継承していくために、地域農業の将来像を描き実践していくための「地域営農ビジョン」を策定し、以下のような取組みを実践しています。

- ・重点品目8品目について、農家戸数、作付面積、販売額の目標を設定するとともに、中心となる組合員宅を、四半期毎に営農指導員・購買担当・金融担当によるTAFメンバーで巡回する取組みを開始させ、情報提供と情報収集、意見要望等の聞き取りを行いました。
- ・ごぼう栽培農家の拡大を目的とした栽培講習会の開催や、農家の負担軽減による面積拡大を目的として選果場に南瓜選果機と磨き機を導入しました。
- ・新規就農者の育成を目的として、昨年度より実施したJ Aあいら営農塾第2期を継続して開講、また、第1期卒業生を中心に、より専門的で農業経営の実践を通じて、農業の知識を習得してもらうための専門講座を今年度より開講しました。

2. 「組合員の収入拡大・コスト抑制対策」の取組み

農業生産基盤の急激な脆弱化が進む中、J Aとして「1円でも多く生産者の手取りを確保し、1円でも安く良い資材を供給する」ことを目的に以下のような取組みを実践しています。

- ・J Aあいら職員による販促隊「ふるさとの食と農お届け隊『Team I♡Ra』」第2期生を結成し、管内をはじめ県内外で開催されるイベントにおいて、管内農畜産物のPR活動を行いました。
- ・農商工連携の取組みとして、管内商工会、霧島商工会議所と県内外の商談会等に参加するとともに、これまでの農商工連携の取組みをさらに強化させる事を目的に、霧島商工会議所と包括連携協定を締結しました。
- ・湧水町ふるさと納税の返礼品として管内農畜産物の取扱を開始させました。また、ゆうパックふるさと小包でお茶商品のセット販売に取組みました。
- ・地域農畜産物の消費拡大を図る事を目的に「輸入農畜産物より国内産、国内産より県内産、県内産より地元産を食べよう」という運動を展開させました。

- ・買取販売の取組み拡大として、湧水米の播種前契約の取組みや、あきほなみを菓子原料として、地元菓子製造会社と取引を開始するなど、買取販売の強化に取り組みました。
- ・中央製茶工場については、県外商社との相対取引を継続し、良質茶生産に取組んだことから、今年度より生葉買取価格が高く設定され、農家所得の増大に繋がりました。
- ・生産資材の価格引き下げ策として、肥料12品目、農薬26品目を推奨品目として設定し、特別価格による販売に取り組みました。また、生産資材等については、入札による一括仕入れ取引を拡大しています。
- ・肥料・農薬大口予約奨励要領を制定し、予約・大口取引による価格引き下げ、奨励措置、直送値引きなどを設定し、取引拡大と組合員への低コスト化に取り組みました。
- ・大型農家を中心とした土壌診断を450件実施し、低コスト化の施肥設計に取り組みました。

3. 組合員との関係性強化の取組み

J Aの自己改革を進めるにあたっては、組合員との徹底した話し合いの実施により、意見・要望などを事業に反映していく事が重要と考えています。あわせて、J A事業を正しく理解してもらい、J A事業の利用拡大とJ Aの理解者・協力者として、地域にとって農協が必要な組織であると思ってもらえるよう以下のような取組みを実践しています。

- ・総代会前地区別説明会の会場増加と出席組合員の増加策を各支店で取り組み、昨年度より13会場増やし、出席者も337名増えたことで多くの意見要望を頂きました。
- ・J Aあいらの自己改革の取組みについて冊子を作成し、83の部会総会等で5,330名の組合員等に説明しました。
- ・組合員への加入をきっかけとしたJ Aの理解促進とJ A事業全般への事業利用拡大を図る事を目的に、新規組合員加入者へは、各支店・営農センターの管理者が訪問し、加入のお礼と事業説明などを行いました。
- ・合併25周年を記念して作成したタオルを全組合員に配布することで、これまでJ Aを支えて下さった感謝の気持ちを伝えるとともに、J Aに対する意見要望の聞き取りを実施しました。
- ・高齢者支援、助け合い組織を新たに溝辺、国分、霧島で立ち上げ、ふれあいサロンを開催し、高齢者福祉や支援活動の輪を広げました。
- ・移動購買車、移動店舗（金融）車を稼働させ、過疎地域における買物弱者支援、高齢者支援にも取り組みました。

V. 役員紹介

平成29年10月

役 職 名	氏 名	常勤・非常勤の別	代表権の有無	担当その他	地 区
代表理事組合長	中 條 秀 二	常 勤	有		霧島(国分区域)
代表理事常務	東 俊 文	常 勤	有	経 済 担 当 常 務	始良(加治木区域)
代表理事常務	尾 谷 光 幸	常 勤	有	金 融 共 済 担 当 常 務	学 識 経 験
理 事	平 富 士 夫	非常勤	無		始良(始良区域)
理 事	上 野 洋 一	非常勤	無		始良(始良区域)
理 事	森 洋 一	非常勤	無		始良(蒲生区域)
理 事	東 郷 護 寛	非常勤	無	経 済 委 員 会 委 員 長	霧島(溝辺区域)
理 事	田 尻 春 孝	非常勤	無		霧島(横川区域)
理 事	淵 上 幸 男	非常勤	無	総務金融共済委員会委員長	湧 水 区 域
理 事	出 口 賢 次	非常勤	無		湧 水 区 域
理 事	黒葛原 富 夫	非常勤	無		霧島(牧園区域)
理 事	徳 田 敏 昭	非常勤	無		霧島(隼人区域)
理 事	中 村 和 志	非常勤	無		霧島(隼人区域)
理 事	中 園 真 一	非常勤	無		霧島(霧島区域)
理 事	今 村 浩 一	非常勤	無		霧島(国分区域)
理 事	福 丸 司	非常勤	無	債 権 対 策 委 員 会 委 員 長	霧島(福山区域)
理 事	植 村 順 子	非常勤	無		女 性 理 事
理 事	平 原 志 保	非常勤	無		女 性 理 事
監 事	窪 田 安 廣	非常勤	—	代 表 監 事	西部(加治木区域)
常 勤 監 事	永 野 則 雄	常 勤	—	学 識 経 験 監 事	学 識 経 験
監 事	前 田 月 子	非常勤	—		北部(湧水区域)
監 事	福 田 操	非常勤	—		東部(隼人区域)
監 事	鏡 橋 良 治	非常勤	—		東部(国分区域)
監 事	邊 田 政 弘	非常勤	—	員 外 監 事	員 外

VI. 店舗一覧

○ はオンライン店舗をしめています。

平成29年10月

店 舗 名	所 在 地	電 話 番 号	備 考
○ 本 所	〒899-5114 霧島市隼人町西光寺521-1	0995- 43-7300	
○ 霧島市役所支所	〒899-4394 " 国分中央3丁目45-1	48-6303	ATM 1
○ 加 治 木 支 所	〒899-5231 始良市加治木町反土2020	63-1133	ATM 2
○ 始 良 町 支 所	〒899-5432 " 東餅田470-5	65-3131	ATM 5
三 叉 支 所	〒899-5401 " 寺師818-7	65-2369	
○ 蒲 生 支 所	〒899-5302 " 蒲生町上久徳2532	52-1135	ATM 1
○ 溝 辺 支 所	〒899-6401 霧島市溝辺町有川320	59-2211	ATM 1
麓 支 所	〒899-6404 " " 麓1418-6	58-2608	
○ 横 川 支 所	〒899-6303 " 横川町中ノ277	72-0311	ATM 1
○ 栗 野 支 所	〒899-6201 始良郡湧水町木場754	74-3151	ATM 1
○ 吉 松 支 所	〒899-6104 " " 川西1113-7	75-2121	ATM 1
○ 牧 園 支 所	〒899-6507 霧島市牧園町宿窪田1365-1	76-1121	ATM 1
○ 隼 人 支 所	〒899-5106 " 隼人町内山田1丁目7番1号	42-1121	ATM 3
日 当 山 支 所	〒899-5115 " " 東郷1251-1	42-1141	
富 隈 支 所	〒899-5102 " " 真孝740	42-0013	
○ 霧 島 支 所	〒899-4203 " 霧島大窪387-3	57-1211	ATM 1
○ 国 分 支 所	〒899-4332 " 国分中央3丁目3-10	45-1033	ATM 3
清 水 支 所	〒899-4304 " " 清水1丁目22-33	45-0046	ATM 1
国 分 南 支 所	〒899-4315 " " 湊178-2	45-1515	
○ 牧 之 原 支 所	〒899-4501 " 福山町福山5344-1	56-2201	ATM 1

ATM設置台数

ATM 23台



あいら農業協同組合

〒899-5114 鹿児島県霧島市隼人町西光寺521番地 1

☎〈代表電話〉0995-43-7300

加 治 木 支 所	☎63-1133	吉 松 支 所	☎75-2121
始 良 町 支 所	☎65-3131	牧 園 支 所	☎76-1121
蒲 生 支 所	☎52-1135	隼 人 支 所	☎42-1121
溝 辺 支 所	☎59-2211	霧 島 支 所	☎57-1211
横 川 支 所	☎72-0311	国 分 支 所	☎45-1033
栗 野 支 所	☎74-3151	牧 之 原 支 所	☎56-2201